

製品名: ヒト IgG2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84328**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 36 kDa ; Observed MW: 53 kDa

抗原情報

遺伝子名	Human IgG2
別名	IGHG2; immunoglobulin Gm2; immunoglobulin heavy constant gamma 2 (G2m marker);;Human IgG2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P01859
免疫原	ヒト IgG2 由来の合成ペプチド

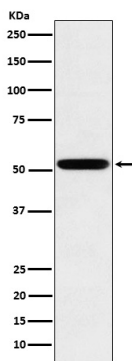
背景

免疫グロブリン重鎖の定常領域。免疫グロブリンは抗体としても知られ、Bリンパ球によって産生される膜結合型または分泌型の糖タンパク質です。体液性免疫の認識段階において、膜結合型免疫グロブリンは受容体として機能し、特定の抗原に結合すると、Bリンパ球のクローン増殖と免疫グロブリン分泌形質細胞への分化を引き起こします。分泌型免疫グロブリンは体液性免疫のエフェクター段階を媒介し、結合した抗原を排除します。

研究分野

-

画像データ



ヒト脾臓溶解物中のヒト IgG2 発現のウエスタンブロット分析。